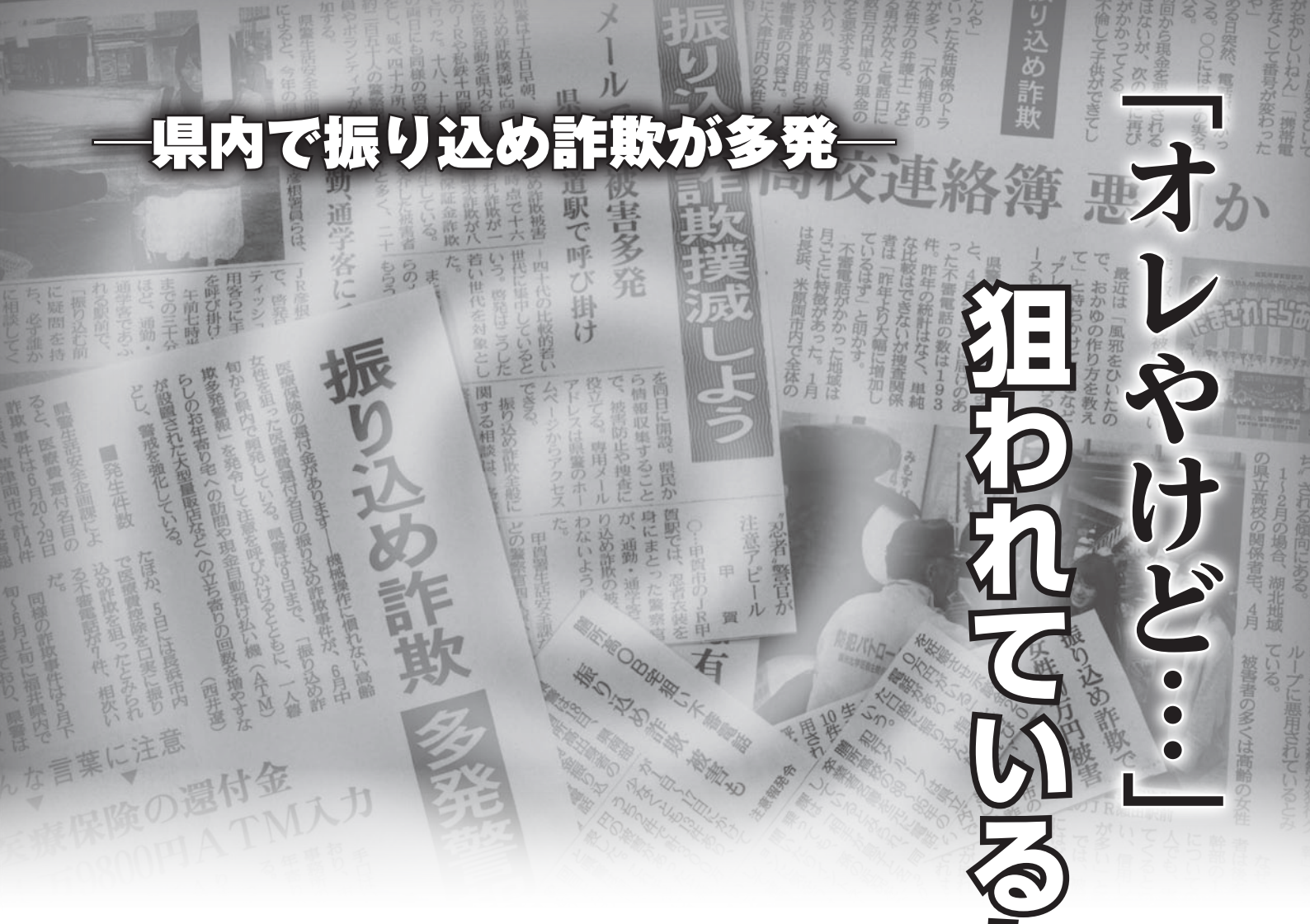




—県内で振り込み詐欺が多発—

「オレやけど…」狙われているかもしれないかもしれません

「オレオレ詐欺」といわれる振り込み詐欺の事件は、全国的に後を絶ちません。テレビや新聞などで事件の内容が報じられていますが、「なぜ、見破れないのだろう」と思っている方がありません。しかし、相手は巧みな話術を使い、犯罪に及びます。その被害者は、女性と60歳以上の高齢者が圧倒的です。

次に狙われているのは、あなたかもしれません。受話器の向こうから、聞き覚えのない声で親しげに話しかけてくれば、まず、疑うことが大切です。

滋賀県と滋賀県警は、2月と4月に県下全域に相次いで「高齢者対象振り込み詐欺多発注意報」を発令しました。

県内では、今年に入り、分かっているだけでも215件の不審電話が相次ぎ、このうち、7件、総額1,650万円の被害が発生し、その多くは身内などになりすまし、金融機関から振り込みをさせるといふもので、高齢者が被害に遭っています。

こんな手口で、
その気にさせる

振り込み詐欺の代表格であるオレオレ詐欺の多くは、「オレやけど」「ボクやけど」「私やけど」と、子や孫など身内になりすまして切り出してきます。つい「○○か?」と返事をする、相手のペースになってしまいます。

てしまいます。

言われるままに金融機関の現金自動預け払い機(ATM)で指定された口座へ大切なお金を振り込んでしまうと、元には戻ってきません。

新手にも用心

最近の詐欺事件では、新たな手口も増えています。

電話帳で住所も調べて、「自分が忙しくて、代わりに、信用できる人に取りに行ってもらおう」などと伝え、現金やカードを直接受け取ることもあります。

また、卒業名簿などの個人情報を手

被害額は、少なくとも
100万円

相手は、お金に困っている理由を告げると、次に必要とされる金額を言います。今年発生した7件の被害の内、最も多い額は400万円、少ない額でも100万円にのぼっています。

最初は「数百万円が必要」と要求し、その額が用意できなければ、頭金などと称して用意できる額を求めてくる場合もあります。

一旦、子や孫など身内の非常時だと思ひ込んでしまうと、一刻も早く助けてあげたいという思いばかりが先立ち、冷静に考えることができなくな

詐欺に 遭わないために

1 まず、疑うことです

身内からの電話だと決めつけないでください。

2 確かめましょう

電話を一旦切り、こちらから身内に連絡し、本人に事実確認をしてください。

3 問い合わせてください

警察や弁護士、官公庁関係を名乗った場合、一旦電話を切って、市役所消費生活相談窓口(電話65-0685)へご一報ください。

4 ご家族で話題にしましょう

自宅に電話する場合のやり取りや、怪しい電話があった場合の確認の仕方などを確認し合うことで、被害を免れることもできます。

振り込む前に一声

市の指定金融機関である滋賀銀行では、10万円を超える振込の場合、注意喚起メッセージがATMに表示されたり、携帯電話を使用しながら操作をしている方に声かけしたりするほか、キャッシュカード利用限度額の引き下げや、大口の払い戻しをされる方に使途を尋ねるなど、振り込み詐欺防止策が積極的に行われています。また、他の金融機関でも同様の防止策が行われています。振り込む前に、行員に一声かけることが水際の防止策です。

不審な電話を受けた場合、まずご相談ください

甲賀市消費生活相談窓口

☎ 65 - 0685

Fax 63 - 4582

問い合わせ

生活環境課 生活交通係

☎ 65 - 0686

Fax 63 - 4582